

見通しやや

明るくなる

水俣病の紛争調停

さる十二日新日窒本社に水俣漁協と会社側の円満解決をはかるため上京中だった水俣病紛争調停委の淵上市会議長、齋所、山岡、広田の各市議は二十日夜帰任、二十一日水俣市役所で見通しは少し明るくなったとつぎのように語った。

補償金白紙委任問題、会社側のいう漁民の就労と漁業復興会社設立の二点についてはこれが該当しないもの(老人など)も考慮してほしいことなどについて申し入れ、十九日最後の話し合いをした。その結果、会社側は就労、漁業復興会社設立の基本方針はいままで通り変えなかったが、漁民その他地元の立場を考えて問題解決のためできる限りのことはしたいといっていた。

なお同調停委は二十六日県庁を訪れ、寺本知事に東京での経過を報告、こんどのあっせん再開について打ち合わせる。